

〇〇党御中

「届けよう！コロナ禍の大学生活アンケート」結果のご報告とお願い

2021年8月25日

全国大学生生活協同組合連合会 学生委員長 安井大幸

日頃より、たいへんお世話になっております。

全国大学生協連では2021年7月5日(月)～19日(月)にかけて「届けよう！コロナ禍の大学生活アンケート」を全国の大学生を対象に実施し、7832名もの学生から回答が寄せられました。8月10日(火)にはアンケート結果について記者発表会を行い、アンケート結果については多数の報道がされました。“学生生活「充実せず」44% 上級生の不満高まる(読売新聞8/11夕刊)、“コロナ下、つらさ際立つ大学生”(朝日新聞8/11朝刊)、“後期の授業に備え、メンタル整えよう”(日経新聞8/18)など。アンケート結果詳細は、同封資料をご覧くださいければ幸甚です。

アンケートからは、学生の経済的な苦境・大学のオンライン講義・対面講義への要望・人とつながれないことへの不安などが浮かび上がってきました。「大学に行きたい」「大学生だけ社会から取り残されている気がする」「このまま社会に出ることが不安」といった悲痛な声も寄せられています。一方で、大学生は人とつながれない状況の中でもいま自分ができることを必死に頑張っています。

大学生協は全国で約128万人(2020年9月現在)の学生・院生組合員が加入している団体です。全国大学生協連は、今回のアンケートの声を政党・国会議員の皆さまに届け、皆さまがこの大学生の状況をどのように捉えていらっしゃるのか、今後の大学生への支援についてのお考えをお伺いし、全国の大学生に届けたいと考えています。

【要請事項】

① 以下の3点についての貴党の見解・政策をご紹介ください。9月20日までにいただければ幸いです。いただいた見解・政策は、全国大学生生活協同組合連合会ホームページ等にて紹介させていただきます。

1. コロナ禍の大学生の現状をどのように受け止めているのか
2. 経済的に困窮している学生への支援について政策等について
3. 社会体験を喪失している大学生世代に対して、どのような政策を検討しているのか

② アンケート結果報告と懇談の機会をいただける場合は、その旨ご連絡ください。

貴党の皆様と直接お話をさせていただき、大学生の「いま」と「がんばり」をお伝えするだけでなく、私たち大学生がいまどんな願いや関心があるのか、政治に対しどんな思いがあるのか、率直にお伝えしたいと考えています。

報告と懇談の機会をいただける場合は、下記連絡先までその旨をお知らせいただければ、その後具体的な調整をさせていただきます。

以上、ご検討をよろしくお願いいたします。

★返信先（お問い合わせも）★ ★

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 全国大学生生活協同組合連合会 4F

TEL：03-5307-1124 FAX：03-5307-1180

全国大学生生活協同組合連合会 学生委員長 安井 大幸（ヤスイ マサユキ）

E-mail：Yasui.Masayuki@univ.coop

TEL：090-5202-4581